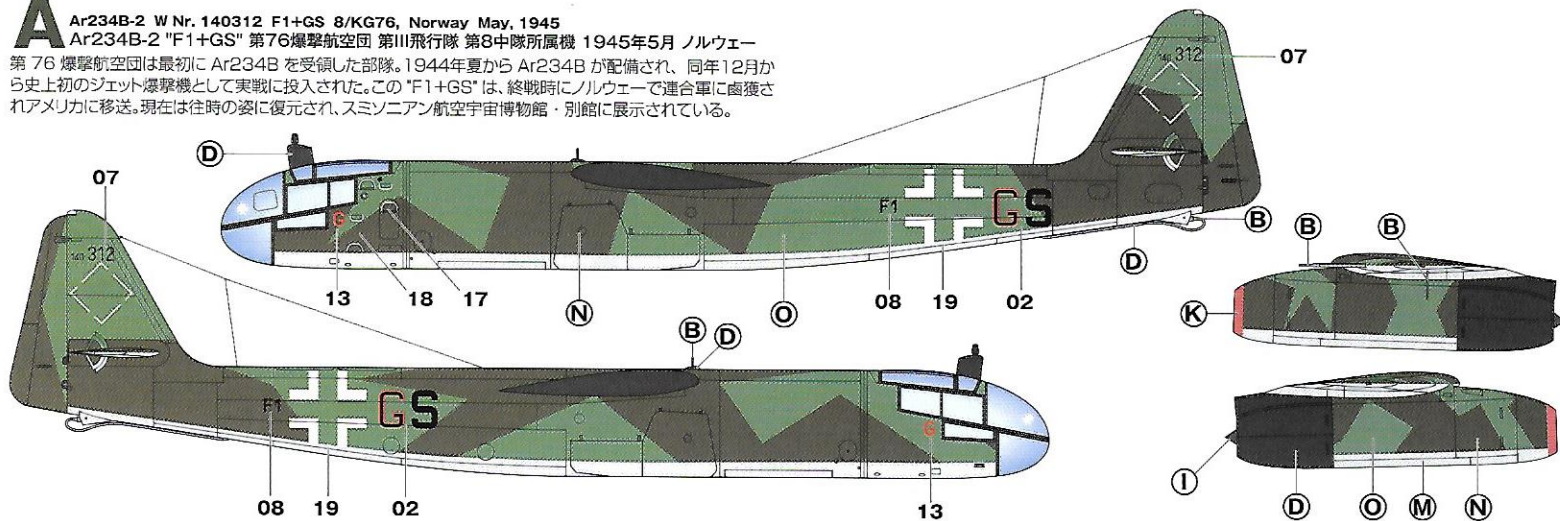


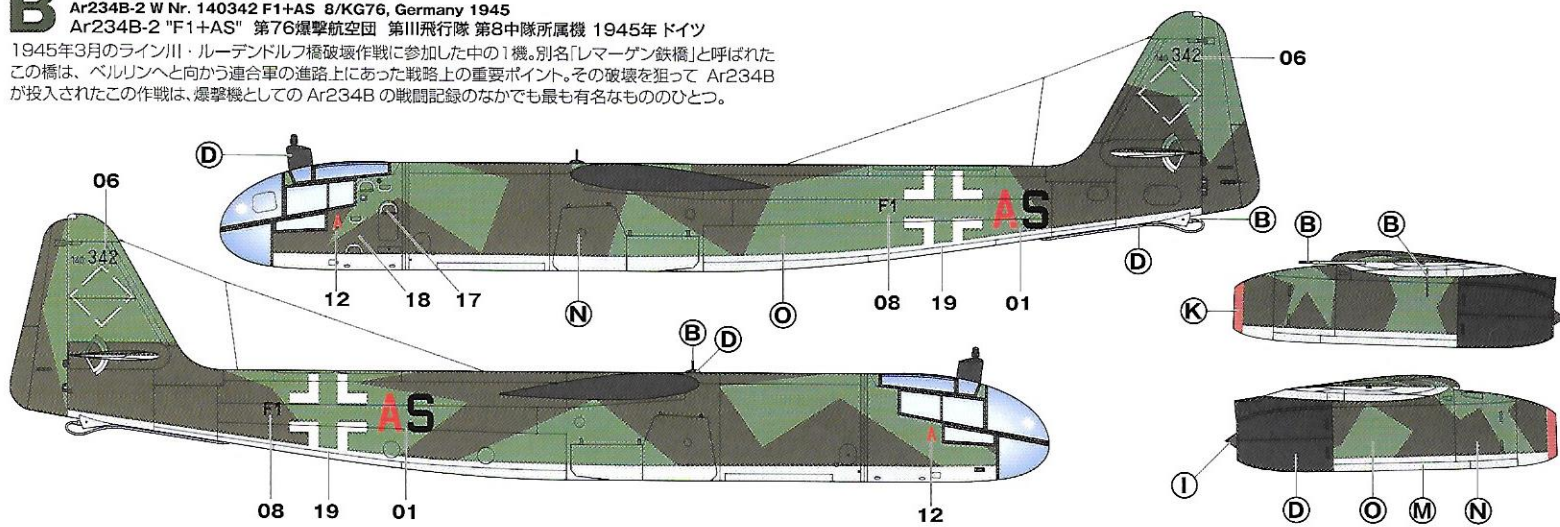
1903年から始まった飛行機の歴史は、第二次大戦の末期に現代へと続く大きな転換点を迎えました。それはプロペラ機からジェット機への進化。Ar234は、そんな転換期に世界初のジェット偵察機として登場した航空史に残る機体です。機首先端をコックピットとした独特のスタイルは、戦

略偵察機として最大限の視界と速度性能、および航続力を確保することを目指したものでした。そして、最初の量産型 Ar234B は、偵察と爆撃それぞれの任務に対応できる機体として1944年夏から戦線に登場。1945年5月の終戦までジェット機の特性を活かして戦ったのです。

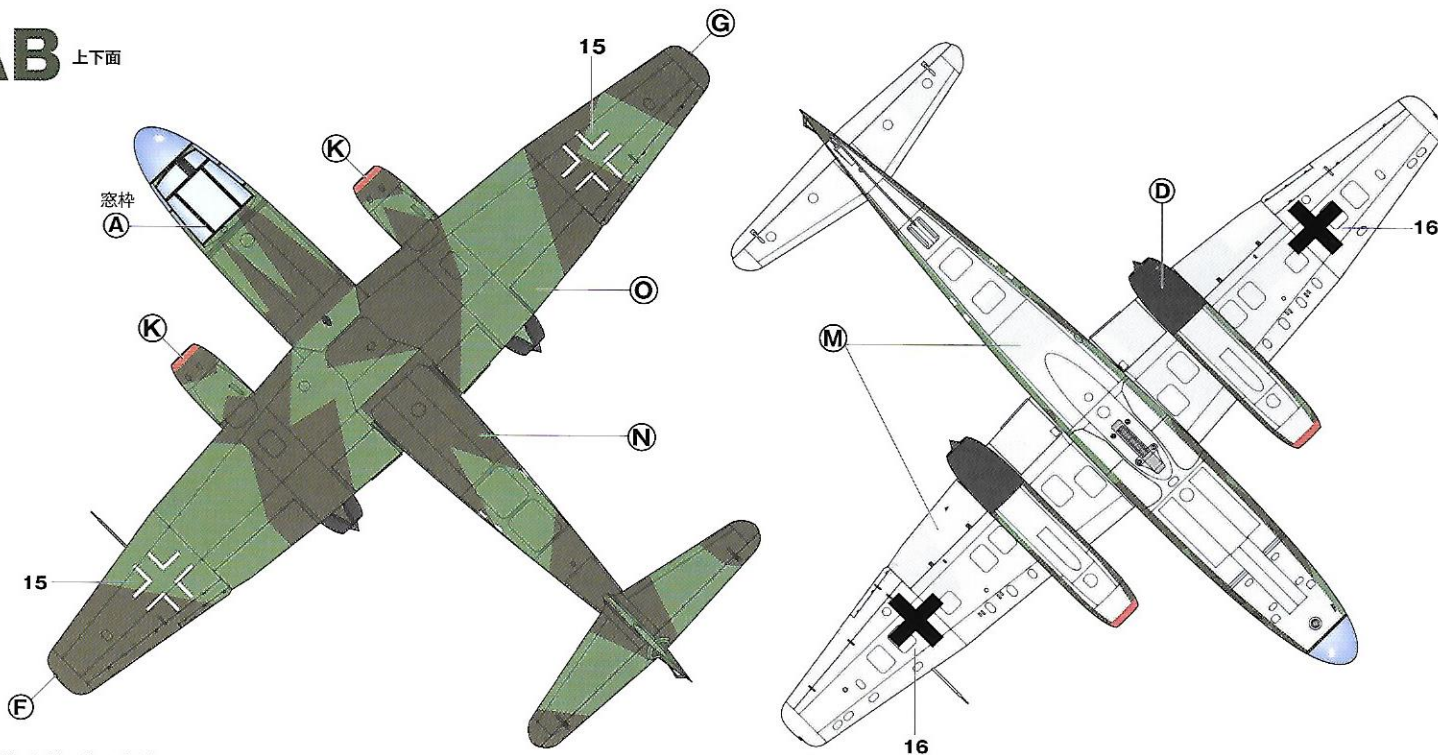
**A** Ar234B-2 W Nr. 140312 F1+GS 8/KG76, Norway May, 1945  
 Ar234B-2 "F1+GS" 第76爆撃航空団 第III飛行隊 第8中隊所属機 1945年5月 ノルウェー  
 第76爆撃航空団は最初にAr234Bを受領した部隊。1944年夏からAr234Bが配備され、同年12月から史上初のジェット爆撃機として実戦に投入された。この「F1+GS」は、終戦時にノルウェーで連合軍に鹵獲されアメリカに移送。現在は往時の姿に復元され、スミソニアン航空宇宙博物館・別館に展示されている。



**B** Ar234B-2 W Nr. 140342 F1+AS 8/KG76, Germany 1945  
 Ar234B-2 "F1+AS" 第76爆撃航空団 第III飛行隊 第8中隊所属機 1945年ドイツ  
 1945年3月のライン川・ルーデンドルフ橋破壊作戦に参加した中の1機。別名「レマーゲン鉄橋」と呼ばれたこの橋は、ベルリンへと向かう連合軍の進路上にあった戦略上の重要ポイント。その破壊を狙って Ar234B が投入されたこの作戦は、爆撃機としての Ar234B の戦闘記録のなかでも最も有名なもののひとつ。



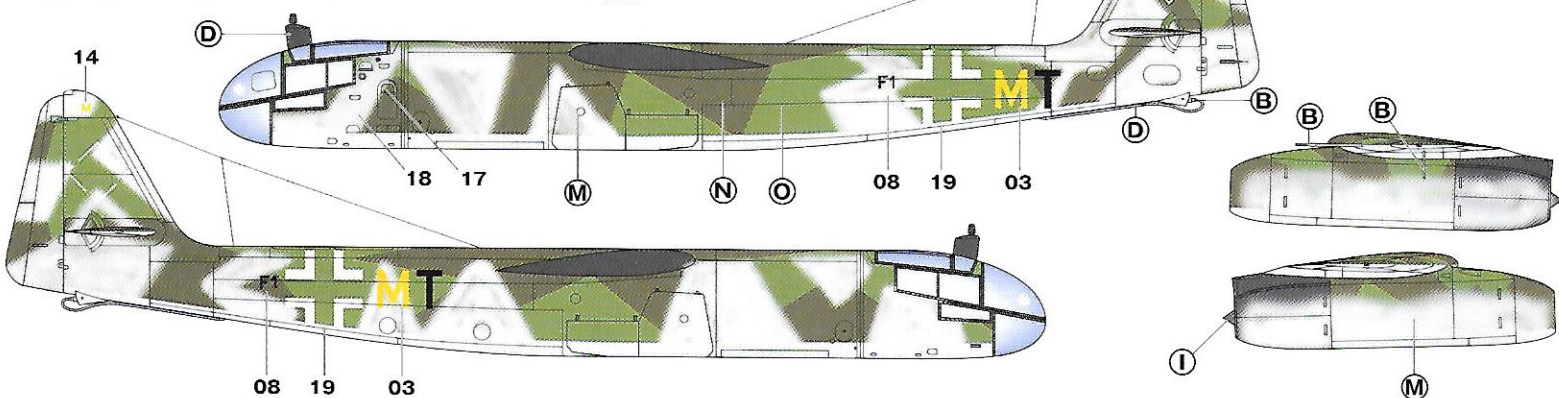
**AB** 上下面



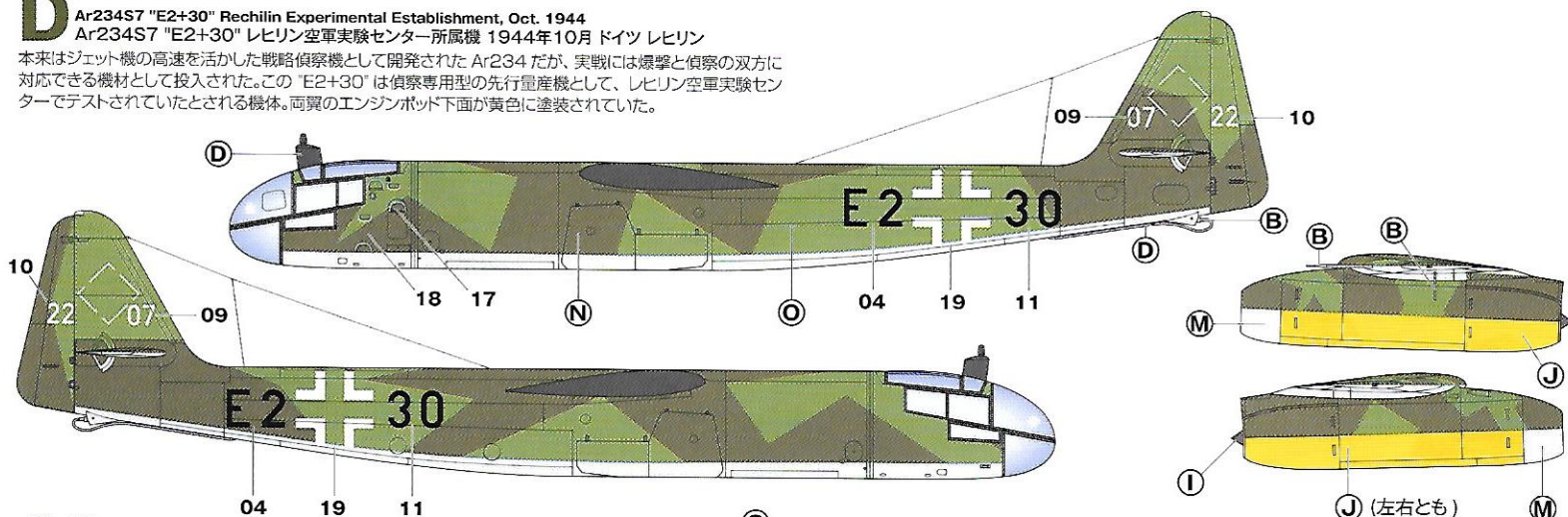
側面図(エンジンポッド含む)×131%、上下面図×173%で1/72原寸に拡大可能

使用する塗料 Paints for use		1. =GSIクレオス /Mr.カラー Mr.Color [4696] =テスター/モデルマスター Model Master	
<b>A</b> 2 4695	ブラック Black	<b>B</b> 8 4678	シルバー Silver
<b>C</b> 28 4681	黒鉄色 Black Iron	<b>D</b> 33 4768	つや消しブラック Flat Black
<b>G</b> 50 4658	クリアブルー Clear Blue	<b>E</b> 44 4697	タン Tan
<b>H</b> 60 4770	RLM02 RLMグレー RLM02 Grey	<b>F</b> 47 4630	クリアレッド Clear Red
<b>I</b> 61 4676	焼鉄色 Burnt Iron	<b>J</b> 113 4771	RLM04 イエロー RLM04 Yellow
<b>M</b> 117 4786	RLM76 ライトブルー RLM76 Light Blue	<b>K</b> 114 4772	RLM23 レッド RLM23 Red
<b>N</b> 121 4791	RLM81 ブラウンバイオレット RLM81 Brown Violet	<b>L</b> 116 4779	RLM66 ブラックグレー RLM66 BlackGrey
<b>O</b> 122 4793	RLM82 ライトグリーン RLM82 Light Green		

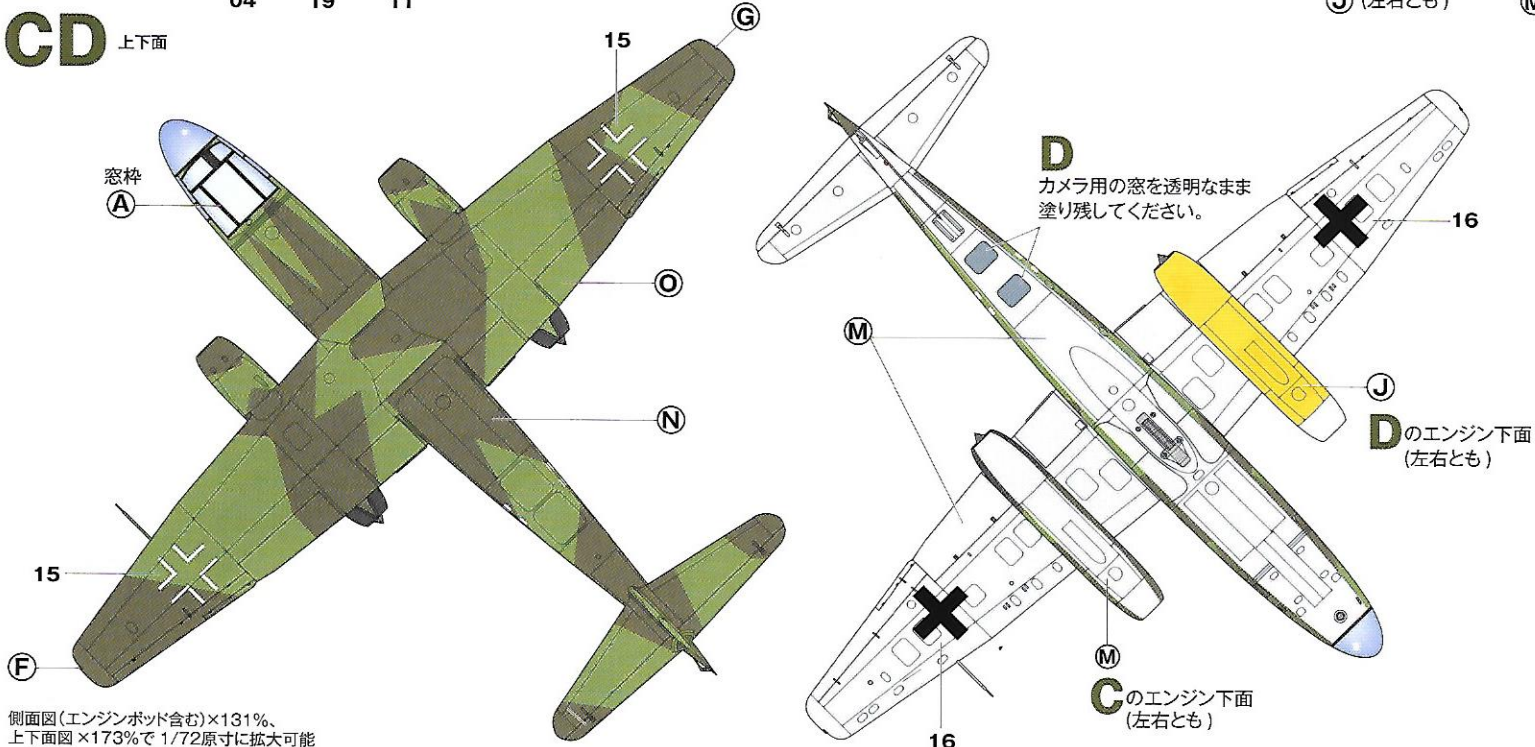
**C** Ar234B-2 W Nr. 140173 F1+MT 9/KG76, Selgersdorf, Germany Feb. 1945  
 Ar234B-2 "F1+MT" 第76爆撃航空団 第III飛行隊 第9中隊所属機 1945年2月 ドイツ ゼルガースドルフ  
 連合軍に初めて鹵獲された Ar234B とされる機体。1945年2月、米陸軍航空隊の P-47 サンダーボルトに  
 撃墜され、ドイツ領内のゼルガースドルフ市近郊に不時着。ドイツ側は機密保持のために破壊を試みたが失敗  
 し、連合軍に回収された。通常の迷彩の上から応急的な冬季迷彩が施されているのが特徴。



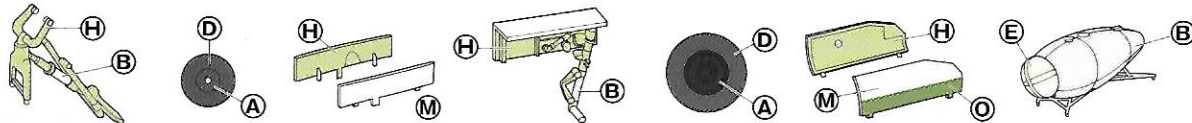
**D** Ar234S7 "E2+30" Rechlin Experimental Establishment, Oct. 1944  
 Ar234S7 "E2+30" レヒリン空軍実験センター所属機 1944年10月 ドイツ レヒリン  
 本来はジェット機の高速を活かした戦略偵察機として開発された Ar234 だが、実際には爆撃と偵察の双方に  
 対応できる機材として投入された。この "E2+30" は偵察専用型の先行量産機として、レヒリン空軍実験セン  
 ターでテストされていたとされる機体。両翼のエンジンポッド下面が黄色に塗装されていた。



**CD** 上下面



側面図(エンジンポッド含む)×131%、  
 上下面図×173%で1/72原寸に拡大可能



使用する塗料 Paints for use 11 = GSIクレオス / Mr.カラー - Mr. Color [4696] = テスター / モデルマスター - Model Master

<b>A</b> 2 4695 ブラック Black	<b>B</b> 8 4678 シルバー Silver	<b>C</b> 28 4681 黒鉄色 Black Iron	<b>D</b> 33 4768 つや消しブラック Flat Black	<b>E</b> 44 4697 タン Tan	<b>F</b> 47 4630 クリアレッド Clear Red
<b>G</b> 50 4658 クリアブルー Clear Blue	<b>H</b> 60 4770 RLM02 RLMグレー RLM02 Grey	<b>I</b> 61 4676 焼鉄色 Burnt Iron	<b>J</b> 113 4771 RLM04 イエロー RLM04 Yellow	<b>K</b> 114 4772 RLM23 レッド RLM23 Red	<b>L</b> 116 4779 RLM66 ブラックグレー RLM66 BlackGrey
<b>M</b> 117 4786 RLM76 ライトブルー RLM76 Light Blue	<b>N</b> 121 4791 RLM81 ブラウンバイオレット RLM81 Brown Violet	<b>O</b> 122 4793 RLM82 ライトグリーン RLM82 Light Green			

# Ar234 Blitz

AE-14

航空模型特選シリーズ第14選

アラド Ar 234B ブリッツ

1/72  
SCALE

DRAGON

PLATZ  
www.platz-hobby.com

## 組み立てをはじめる前にお読みください READ THIS FIRST!

- あらかじめ組み立て説明書に目を通し、全体の流れを把握しておきましょう。■このキットは4種のマーキングから1種を選んで製作可能です。
- この製品はプラスチックモデル組み立てキットです。■接着剤・塗料は別にお買い求めください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って口に入れると思わぬ事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 製品の性質上、先の鋭利な部品がありますので取り扱いには十分にご注意ください。
- 接着剤・塗料を使用する際には絶対にちかくで火を使用しないでください。■対象年齢 15歳以上
- This is a plastic unassembled scale model kit. ■Glue and paint not included. ■Some parts are extremely sharp. Handle carefully.

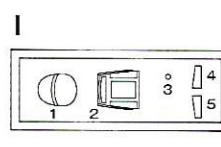
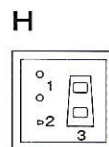
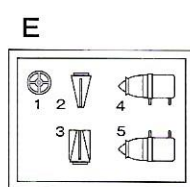
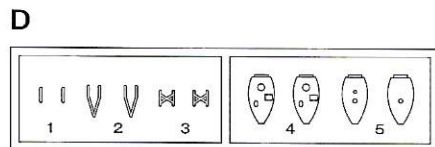
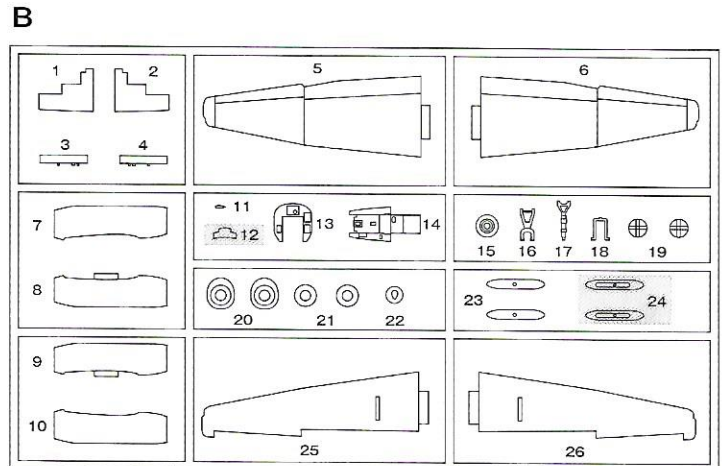
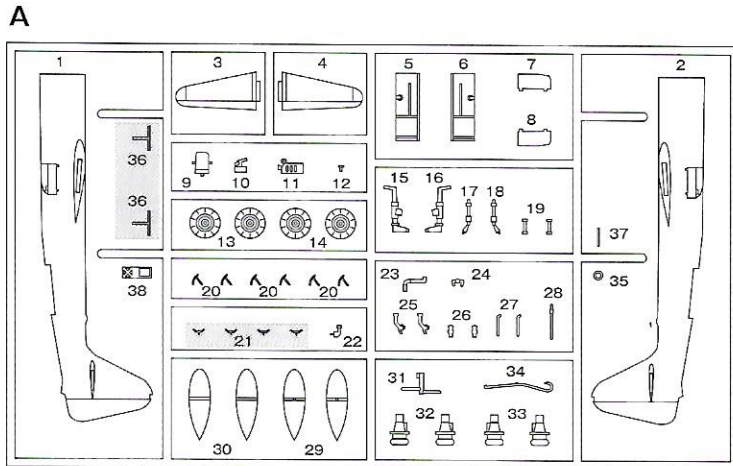
### アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、お手数ですがお客さまのお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称、数量、を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙でご請求ください。無償で正規の部品を送付させていただきます。また、破損・紛失については実費で部品をお分けいたします。お手数ですがメールまたは電話/FAXでお客さまのお名前、ご住所、電話番号、商品名、部品名(番号)をお知らせいただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

■電話/FAXでの受付 TEL: 054-345-2047(土日祝日を除く AM10:00~PM4:00) FAX: 054-345-2285

■メールでの受付 カスタマーサービス係: cs@platz-hobby.com

### 部品図



### デカール



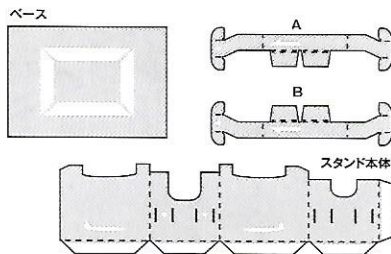
＝使用しません。

金属製計器板

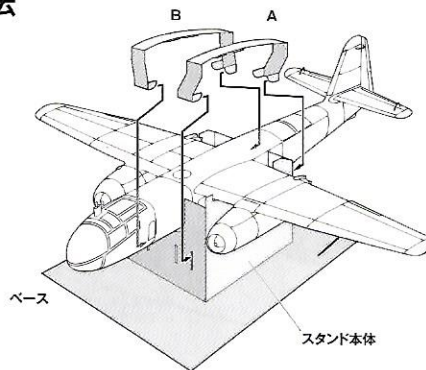


機首オモリ

### 作業・完成品保管用スタンドの使用法



4つのパーツを実線に沿って  
丁寧に切り出し、切り取り/山折りの指示に従って  
組み立てます。



機体を浮かせた状態で保持することで、  
組み立て作業をサポート。  
脚などのパーツ取付作業を確実に行う  
ことができます。

完成後は作品保管用の固定スタンドとし  
ても使えます。  
機体を確実に固定することで、繊細なア  
ンテナなどの破損を防ぎます。

### デカールの貼り方 How to apply decals

- デカールの絵柄を傷つけないよう、使いたい部分だけはさみやカッターで切り抜いてご使用ください。●水に数秒つけて、引き上げてください。●貼りたい場所に滑らせて貼り付けます。水を含ませた筆や綿棒などで位置を決め、余分な水分を取り、そのまま乾燥させます。デカールソフトナー(柔軟剤)をご使用ください。●デカールの上からクリアや仕上げ剤を上塗りする場合は、塗装前に十分に乾燥させてください。
- Cut out what you want to use out of the sheet, to not hurt surface of printing. ■Place on surface of water in a few second. ■Slide it off on place where you want. Trim position with wet soft cloth or cotton stick. ■To Adhere decal decal softening materials. ■Dry up completely if you want to cover the surface with clear paint.

# コクピット・機首を組み立てる

**金属製のパーツについて**  
 機首オモリは金属製のため、通常のプラモデル用接着剤では接着できません。エポキシ系や合成ゴム系など金属素材に対応した接着剤をお使いください。ゼリー状の瞬間接着剤も使用可能ですが、衝撃に弱かったり、塗装面を白く曇らせてしまう場合があります。少量のゼリー状瞬間接着剤を位置決めに使って、エポキシ系や合成ゴム系接着剤で接着強度を確保するなど、適宜使い分けてください。接着面にヤスリをかけておくと接着剤の食いつきがよくなり、強度の向上が期待できます。胴体組立後に外れたりしないよう、確実に接着をしてください。

**塗装例 D** の場合のみ組み立ててください。

**塗装例 C/D** 削り取ってください。

**仮組をし、脚が開きすぎてしまう場合にはこの部分を削って調整してください。**

**主翼・尾翼を取り付ける**

**主翼・尾翼 取付角度参考図**

# 偵察用カメラを組み立てる

塗装例 D の場合のみ組み立ててください。

# 胴体を組み立てる

**主脚 取付角度参考図**

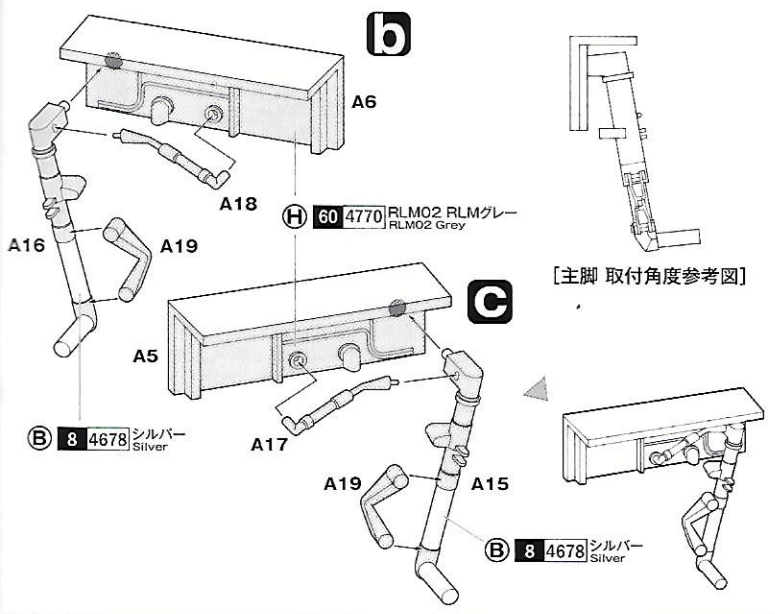
**どちらを選ん**

**塗装例 D**

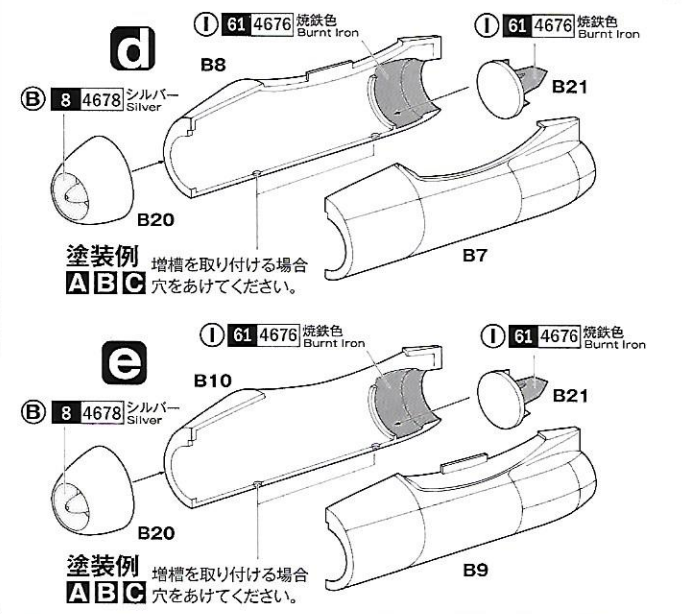
# 主翼・尾翼を取り付ける

**主翼・尾翼 取付角度参考図**

## 主脚を組み立てる

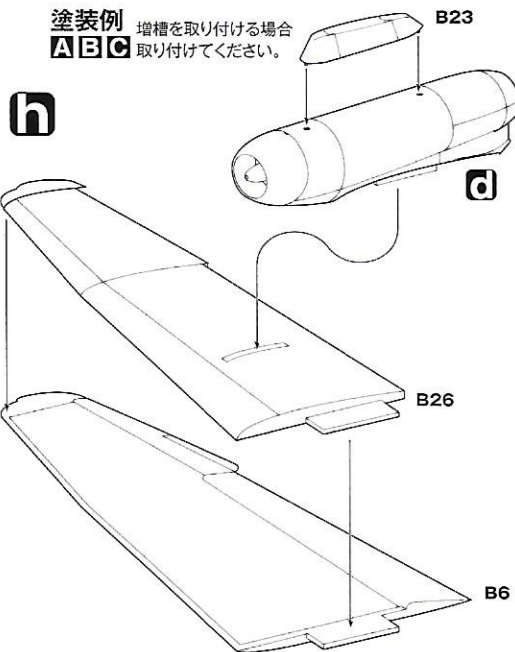


## エンジンを組み立てる

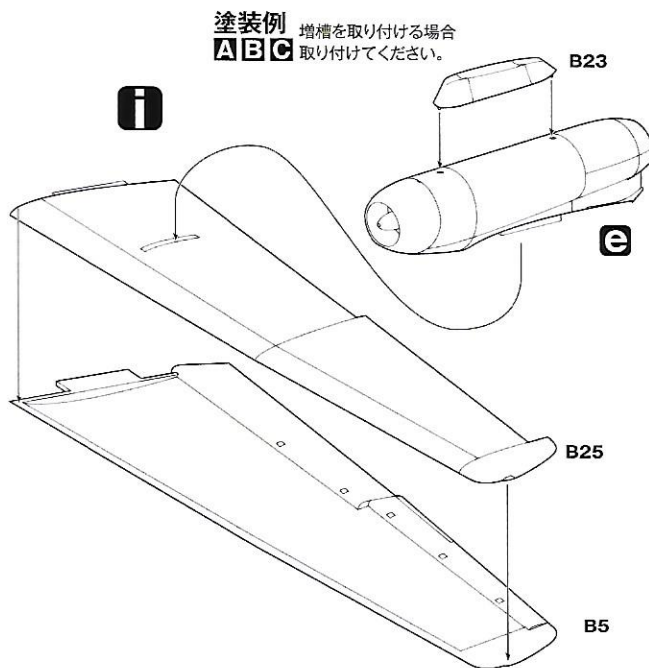


## 主翼を組み立てる

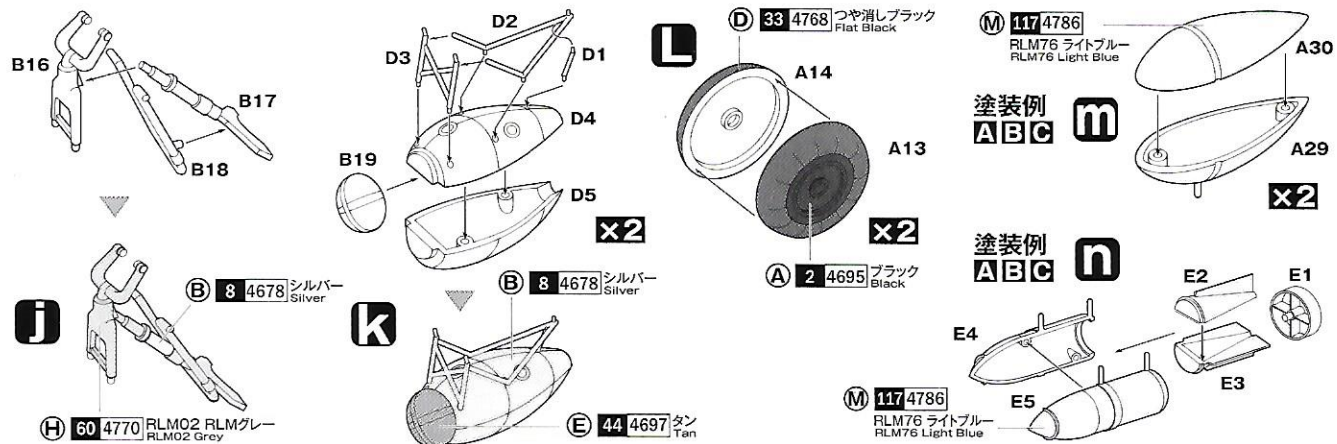
**塗装例 ABC** 増槽を取り付ける場合 取り付けてください。



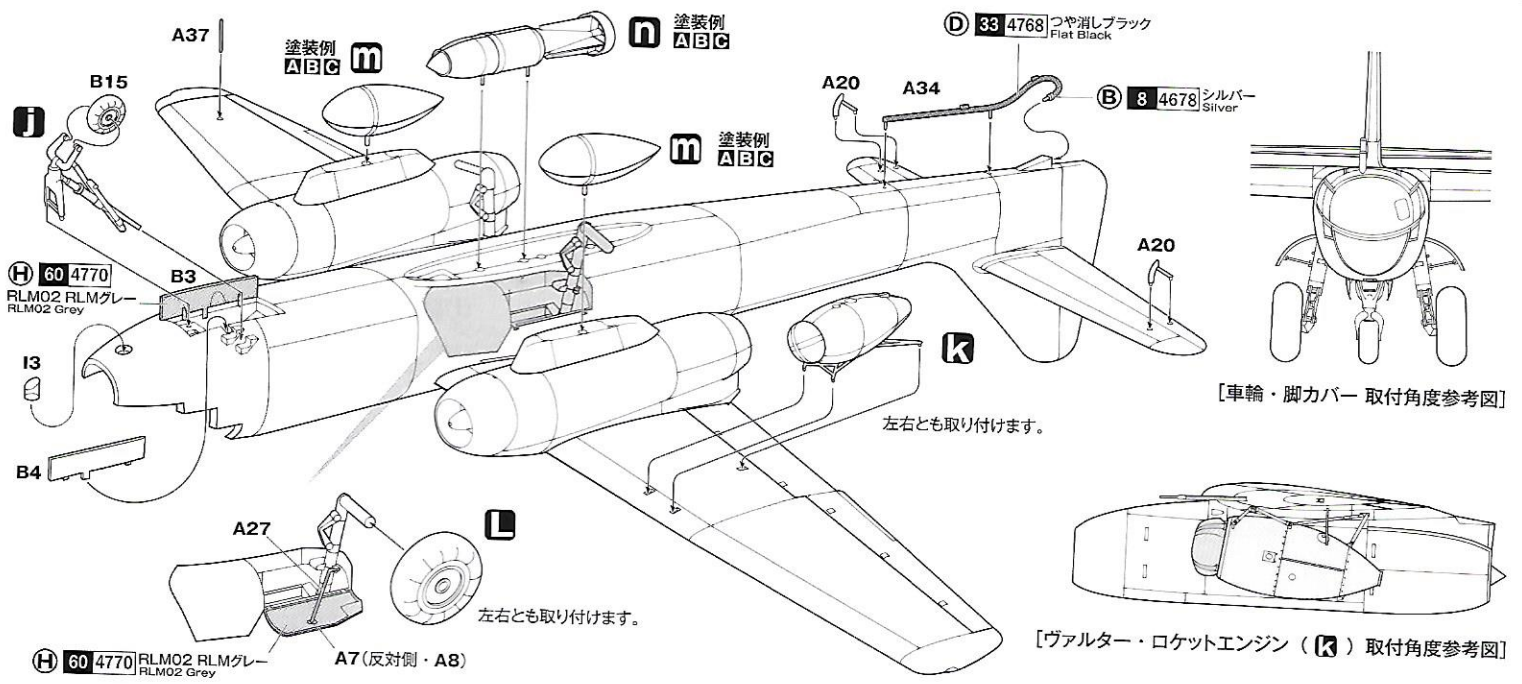
**塗装例 ABC** 増槽を取り付ける場合 取り付けてください。



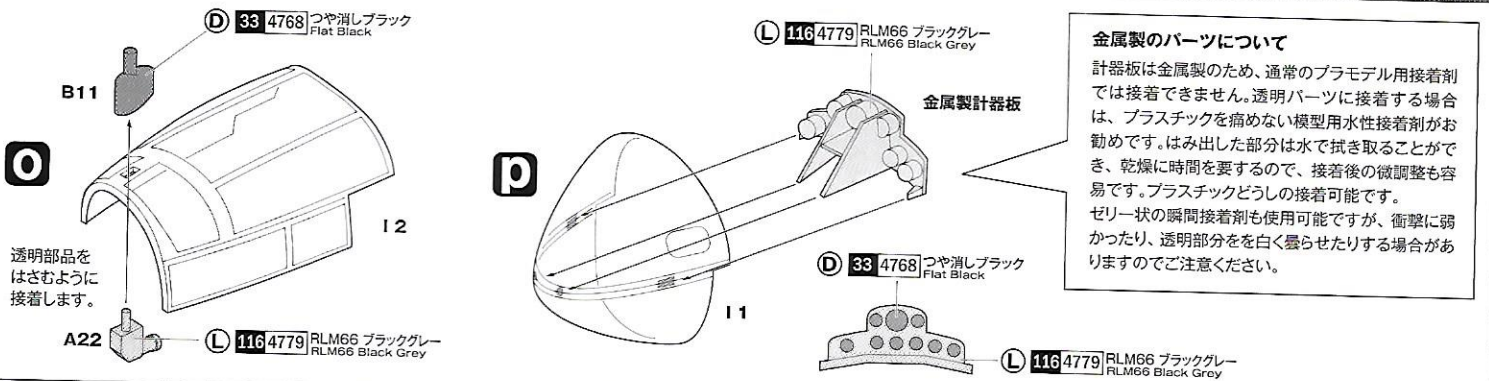
## 前脚柱・主車輪・アクセサリを組み立てる



# 増槽・爆弾・主車輪を取り付ける



# キャノピーを組み立てる



# キャノピーを取り付ける

